

おうちの図工室・美術室

アルミホイルから生まれるぞ

対象学年 中学3年生～高校2年生

想定時間 最低3時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

アルミホイルって、だいたい台所にありますよね。

普段調理道具として見ているアルミホイルを、新しい表現の材料としてみたら、どうでしょう？

取り出して、手で触ってみてください。ギラギラしてますね。丸めると、うんと小さくなるますね。

そして軽くてかたい塊になります。細くちぎると微風にもなびくほど軽やかになります。伸ばすと

つややかに光ります。金属なのに、実に多様な表現をすることが可能です。

そんな1枚のアルミホイルから、生き物が生まれたら…。今日はそんなことを想像してみましよう。

きっと、今まであなたが、いや、世界中の誰もが見たことのないような生き物を、あなたの手で

生み出すことができるでしょう。

- 今回はアルミホイルを使うことと、自立することを条件とします。生命感がでるような立体を目指してください。
- 接着剤は使ってもよいですが、表面はアルミホイルだけになるように工夫しましょう。
- アルミホイルだけでも、いろいろな表情を出すことができますよ。ぜひ試行錯誤してみてください。また、気づいたことや感じたことはメモをとるようにしましょう。
- 完成したら場所を設定して撮影しましょう。捕獲した研究室の写真でもよし、庭などで撮影してもよし。新生物にリアリティを出すための工夫をあなたなりに考えてみてください。
- 生物がなぜ存在したのか、生物の情報を想像して書いてみましょう。
- 全員の作品が集まったら、1冊の図鑑にして、人々を驚かしましよう。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

身近なアルミホイルの素材性の特徴の多様さに、自己の経験を結びつけながら、これまで人類が経験しなかった形状を創造します。

深く見つめる

生き物の動きの特徴を図鑑やネット上の動画等から観察することで、動く構造を生かした造形へと向かうことを期待します。また自立することを通して、重力や周囲の環境などを考慮して制作します。

三観点

知識・技能

アルミホイルの素材がもつ特性や、バランス、動勢を意識して制作できる。

思考・判断・表現

未知の生物を、想像をふくらませ、設定や撮影場所も含めて工夫し、生命感を表現できる。

主体的に学習に取り組む態度

想像の世界を楽しみ、他者の表現などを楽しもうとする。
素材の特徴を楽しみ、多様な表現に挑戦しようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

ギンイロヘビモドキ

体長10～20センチ

生息地 湿った岩場 洞窟

昼間は洞窟の巣で眠っている。夜間になると巣から出て餌を探す。光に当たると全身が反射して輝く。全身が硬い鱗で覆われており、動くときに独特の音をする。泳ぐことが得意で、時折水中から顔をのぞかせる。

光ると目立つから、夜行性かな

同じ素材でも加工の仕方で全然印象が変わる！

紺色の背景と鏡を使うと金属が美しく見える！



コモリケグモ

体長20～30センチ

生息地 亜寒帯地域の茂み 森

茂みや木の隙間に巣を作り、反射する光におびき寄せられた獲物がかかるのを待つ。金属の体の腹部に毛皮のような部分があり、敵が来ると毛の中に身を隠し、反射する光を遮る。



森に住んでる感じ、庭で出せるかな？

自然にるように見せる工夫が難しいけど面白い

金属をうまく撮影するのが難しい。光を意識しないと。